

情報通信研究機構

NICT 先端研究

(140)

私の研究は、シヨウ
ジヨウバエのオスが同
性愛になる突然変異
体、サトリの発見に端
を發し、異性に惹かれ
る仕組みを遺伝子と脳
の働きから理解するこ
とへと向かった。その

研究をさらに、ここ多くが、そんな疑似生を獲得したなら」といの人生で、一番ここ
に響くしなやかなI。物づくりから始まってう共通の筋書きがあを揺さぶられたのは、
T（モノのインターネ いる。世界を席巻する。ならば「ここ」 どんな体験だろうか。
ット）の開発に役立て AI人工知能はその って何だろう。
たいと思っている。 極みである。
生き物は不思議の詰 一方で、生き物の特 同じく脳の所産であ い。恋愛の不思議など
まった玉手箱だ。人類 権、ヒトの専売特許に り、感情、情動を伴う ころは、誰彼構わず好
は謎めいた生き物に魅 しておきたいものもあ 点で知能とは異なっ て きになつたりしないと
了されてその「まね る。その一つが「ここ いる。分かりやすく言 いう、当たり前的事实
に心血を注いで来た。 ろ」だ。SFの根底に えば、喜怒哀楽のある がある。同性に恋い焦
今日のテクノロジーの は「もし機械がこころ なしの違いだ。あなた される人もいるが、異

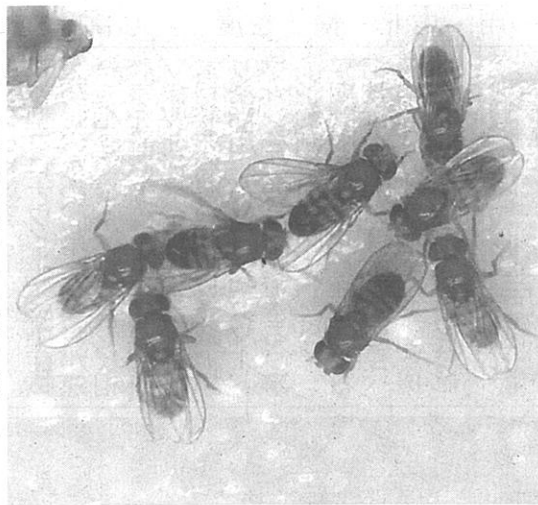
“恋する脳” サトリで解明

未来ICT研究所・上席研究員 山元 大輔

1978年東京農工大学大学院修士課程修了、
三菱化学生命科学研究所、ノースウエスタン大
学、早稲田大学教授、東北大学教授を経て201
8年から現職。専門は行動遺伝学。理学博士。



オス同士が求愛して数珠つなぎに
なったサトリ変異体



これは動物にも当て あつて、オスとメスと
はまる。その訳は、と では脳内の神経回路が
なると途端に分からな はつきり違うことを突
だ。
これは動物にも当て あつて、オスとメスと
はまる。その訳は、と では脳内の神経回路が
なると途端に分からな はつきり違うことを突
だ。
これは動物にも当て あつて、オスとメスと
はまる。その訳は、と では脳内の神経回路が
なると途端に分からな はつきり違うことを突
だ。

遺伝情報に基づいて
築き上げられた回路
が、生活体験を経てし
なやかに変化する仕組
みを機械に持たせるこ
とができたなら「ここ
ろの少し手前」を持ち
合わせた暖かい機械が
できるかもしれない。
(火曜日に掲載)

科学技術・大学